

第 90 回病診連携委員会要録

日 時 平成31年2月25日（月）午後7時45分
 場 所 浪速区医師会 会議室
 出席者 裏面

今回は大野記念病院の地域連携室、宮井氏と四天王寺病院のMSW肥田氏が初参加。
 また、阿倍野区医師会の岡会長、塩見副会長、相原第二病院の門林氏をゲストとしてお呼びした会となった。
 阿倍野区では病病連携として病床連携シートを用いてスムーズに行えているとのことより、このお話を門林さんから伺うことが出来た。

議 題

1. 第89回病診連携委員会報告について（資料1）
 前回委員会での議事内容の報告を行った。

2. 病病連携における病床連携シートについて（相原第二病院 門林氏）

阿倍野区ではJR大阪鉄道病院、奥野病院、越川病院、帝塚山病院、帝塚山リハビリテーション病院、相原第二病院の6病院に加え、大阪市立大学付属病院を合わせた7病院がある。当初、阿倍野区病院連携会、阿倍野区地域医療連携を背景に、6病院が病病連携を行っていたが、各病院、急性期医療から地域包括ケア病床を取り入れることとなり、地域包括ケアシステムの構築が必要になってきたため積極的に取り組むようになってきた。各病院の情報交換、在宅医療の後方支援、現状、病床機能の特徴（病院間での住み分け）を出し合った結果、意外に知られていない事が多かったため、病院間でも知られていない事は、結果的に一般の方、開業医の先生、介護事業所にも知られていないかもしれないと考え、大阪市立大学も含め7病院で情報共有を行うこととなった。内容としてはざっくりと急性期、回復期などの分類を行い、病床連携シートの作成、各病院の差額ベッドの金額などを挙げたものを作成。さらに受け入れ可能疾患の記載も行った。これを各病院で情報共有し、阿倍野区の介護事業所にも知ってもらう事が可能となった。あべれん「阿倍野区地域医療連携合同協議会」の協力のもと、機能を説明したパンフレットを作成し、医師会およびケアマネ連絡会にも配布、中には担当者や連絡先も記載されている。また、医療と介護の連携シートを作成し、あべれんとケアマネ連絡会とで共通のフォーマットを作成し、医療介護の双方で使用できるようにしている。今後更なる目標としてはメールなどでタイムリーに情報連携が出来るようになれば、空床などの情報なども載せていける事が出来るのではないかと考えられる。今後、浪速区でも病床連携シートを編集後、使用していくとが検討されることとなった。

3. 阿倍野区医師会の地域連携や取り組みについて（阿倍野区医師会 塩見副会長）

そもそも阿倍野区に7病院をある事も知らなかったし、このような連携がなされていることも知らなかったと。機能的に分化していることは理解できたが、今後どのように連携を取っていくかは模索中。理事同士は他の伝達方法で連携を取っているが、病診連携についてはまだ意見が出ていない（阿倍野区の医師会員数は浪速区のほぼ2倍）。

4. ブルーカード登録数について

本日現在の登録件数				浪速区 590 件	他地区 62 件				
本日現在の使用状況数（延べ）				浪速区 660 件	他地区 46 件				
11月27日から本日までのカード動向				合計 97 件					
新規	25 件	更新	35 件	入院	7 件	他入院	0 件	帰宅	7 件
中止	3 件	死亡	7 件	退院	5 件	連携入院	0 件	受入不可	2 件
通院無	0 件	かかりつけ医変更		2 件	登病変	2 件	転院	2 件	

5. その他
なし。